



平成23年度

札幌管区気象研究会

日本気象学会北海道支部研究発表会

平成23年12月13日(火)・14日(水)

札幌管区気象台

日本気象学会北海道支部

札幌管区気象研究会・日本気象学会北海道支部研究発表会 次第

日 時：(第1日)平成23年12月13日(火) 13時00分～17時15分

(第2日)平成23年12月14日(水) 08時40分～11時30分

場 所：札幌管区気象台 大会議室

指導官：札幌管区気象台技術部長 吉田 隆

【第1日：12月13日(火)】

- | | | | |
|-----|------------------|-----------------|---------------|
| 1 | 開 会 | 大窪技術部次長 | 13:00 |
| 2 | 挨拶 | 川津管区気象台長 | 13:00 ～ 13:05 |
| 3 | 研究発表
進行説明 | | 13:05 ～ 13:10 |
| (1) | 研究会プログラム No.1～6 | | 13:10 ～ 14:58 |
| | 座 長： | 岡田 聡 (気候・調査課) | |
| | | 谷本 岳彦 (気候・調査課) | |
| | (休 憩 | 14:58 ～ 15:09) | |
| (2) | 研究会プログラム No.7～13 | | 15:09 ～ 17:15 |
| | 座 長： | 前田 潔史 (予報課) | |
| | | 廣瀬 直之 (予報課) | |

(第1日終了：休 会)

【第2日：12月14日(水)】

- | | | | |
|-----|-------------------|-----------------|---------------|
| (3) | 研究会プログラム No.14～18 | | 08:40 ～ 10:10 |
| | 座 長： | 岡田 聡 (気候・調査課) | |
| | | 小司 晶子 (気候・調査課) | |
| | (休 憩 | 10:10 ～ 10:25) | |
| (4) | 研究会プログラム No.19～21 | | 10:25 ～ 11:19 |
| | 座 長： | 長谷部 文雄 (北大) | |
| | | 谷本 岳彦 (気候・調査課) | |
| 4 | 指導官講評 | 吉田技術部長 | 11:19 ～ 11:30 |
| 5 | 閉 会 | 大窪技術部次長 | 11:30 |

プログラム

研究発表（第1日：12月13日）

発表時間13分、質疑5分：計18分

（○印は発表者）

No.	研究題目	所属	調査研究者	発表時間
1	羅臼の局地風について	釧路地方気象台	○義煎 聡 中川 雅夫	1310-1328
2	十勝地方の局地風について	帯広測候所 札幌管区気象台	○西村 隆 青木 健太 山中 智 山本 麦	1328-1346
3	旭川空港のガスト予測ワークシート作成（第2報）（航空共通テーマ）	新千歳航空測候所 旭川空港出張所	○杉田 道裕 毛利 香	1346-1404
4	新千歳空港のガスト予測ワークシート作成（第3報）（航空共通テーマ）	新千歳航空測候所	○大橋 康昭 今村 和久 今井 達也 海藤 さやか	1404-1422
5	胆振地方の強風特性について	室蘭地方気象台	○柴田 俊治 珍田 雅樹 向井 伸夫 保坂 啓太	1422-1440
6	JRA-25 を用いた JMANHM によるハインドキャストに基づく風の基本パターンの作成（第2報）	札幌管区気象台 網走地方気象台 地球環境・海洋部 海洋気象課	海藤 幸広 堀内 飛鳥 ○酢谷 真巳 中山 寛 安齋 太朗 米田 宗平	1440-1458
休 憩				
7	2010年8月11日夜の渡島・檜山地方の大雨について	函館海洋気象台	○笠原 隆志	1509-1527
8	2010年8月23日から24日にかけて発生した線状降水帯について	札幌管区気象台	海藤 幸広 水上 威仁 ○久保田 隆信 酢谷 真巳	1527-1545
9	上川・留萌地方の降雪パターンと降雪量分布に関する基礎調査（第2報）	旭川地方気象台	○市川 敬	1545-1603
10	函館空港の冬型気圧配置時における降雪量予想の検討	新千歳航空測候所 函館空港出張所	○郡川 光紀 川上 弘樹	1603-1621
11	2011年2月1日の新千歳空港の大雪事例解析	新千歳航空測候所	○大矢 恒太朗 今井 達也 田野平 聡 海藤 さやか	1621-1639
12	近年における測器障害の傾向と対策	札幌管区気象台	長谷川 尚也 ○横山 慶久	1639-1657
13	宗谷地方と北海道日本海における各港湾の潮位特性調査（第2報）	稚内地方気象台	○梅澤 研太 大山 浩明 大嶋 彬 加藤 美和	1657-1715

研究発表（第2日：12月14日）

発表時間 13分、質疑5分 ：計 18分

（○印は発表者）

No.	研究題目	所属	調査研究者	発表時間
14	熱的不安定性降水の警報トリガーワークシートの開発	網走地方気象台	○中山 寛 石田 宏幸	0840-0858
15	網走熱的不安定性降水ワークシートの実況修正手法の検討	網走地方気象台 新千歳航空測候所 女満別空港出張所	○児玉 裕樹 大木 紗智	0858-0916
16	熱的不安定性降水における実況監視項目の追加に係る調査	旭川地方気象台	○伊藤 洋 宮川 貴光	0916-0934
17	ドップラーレーダーVWP 風による短時間強雨の予測について	釧路地方気象台	○村井 臣哉 蒔田 俊輔	0934-0952
18	室蘭の年平均気温の経年変化の検証	室蘭地方気象台 新千歳航空測候所	○佐々木 章嘉 玉村 元	0952-1010
休 憩				
19	領域気象モデル WRF を用いた温暖化による北海道道央周辺の降水特性の予測	北海道大学 株式会社スノーイーターズ	鈴木 英一 (北大・大学院 工学研究院) ○西田 浩平 齋藤 佳彦 植松 孝彦	1025-1043
20	低次元系における確率微分方程式による中高緯度冬季の長周期変動の力学と予測可能性（1）	北海道大学 京都大学	○稲津 将 中野 直人 (北大院理) 向川 均 (京大防災研)	1043-1101
21	中緯度と極域での観察に基づいた新しい雪結晶分類（グローバル分類）の提案（2）	雪結晶の新しい分類表を作る会メンバー	○菊地 勝弘 (北大名誉教授) 亀田 貴雄 (北見工大) 樋口 敬二 (名大名誉教授) 山下 晃 (大阪教育大学 名誉教授)	1101-1119

（※ 氏名のゴシック体は、日本気象学会北海道支部会員）

(以降、予稿集 2 1 題)